

ふう けい き こう
風景紀行
 徳川家康公ゆかりの地
鳳来寺山
 31
 愛知森林管理事務所
 (各署の景勝地等を紹介)

徳川家康公ゆかりの地 鳳来寺山

「愛知所」・仏法僧」と鳴くコノハズクの声が聞かれる鳳来寺山は、当所の豊橋森林事務所管内に所在する棚山国有林と連なる旧火山群の最南端にあつて、東三河平野を隔て三河湾を望む事が出来ます。

この山は、約二千万年〜千五百万年前に数回の火山活動によって噴出した流紋岩漿による松脂岩や石英安山岩等で構成されており、その後の地殻変動と風化浸食作用によって原形を失い、現在の険しい岩山となっています。その特異な山容は古くから信仰の対象とされてきました。

鳳来寺山頂中程にある鏡岩と呼ばれる大岩壁の下に建つ鳳来寺は、特に子授けの薬師如来として評判が高く、松平広忠夫妻が祈願して授かったのが、後の天下人となる徳川家康であつたと伝えられています。

また、薬師如来に祈願する際は鏡を奉

納する習わしがあり、鏡は衆生の願いごとを写し叶えるとされておられ、現在では鏡が付いた「鏡絵馬」が沢山奉納されています。

【参考】

杉の巨木（樹齢約八〇〇年）が立ち並ぶ石段を登りきると家康公を祀る朱色の東照宮があり、日本三東照宮の一つとなっています。昭和二十八年には本殿拜殿、幣殿、中門、透門、石棚、石燈籠等が国の重要文化財に指定されています。また、紅葉の名所になっている鳳来寺



鏡の付いた絵馬

山は毎年、十一月二十三日に「鳳来寺山もみじ祭り」が催され、車やバスで来る多くの人たちが賑わっています。

◇アクセス方法

【公共交通機関】

JR飯田線「本長篠駅」
 豊鉄バス約八分「鳳来寺」
 下車、徒歩六十分
 もしくは豊鉄バス「鳳来寺山頂」下車



紅葉の時期の鳳来寺山



家康公を祀る東照宮